



地域で交流促進をどうすすめるか

—つながりのある すみよい地域をめざして—

高齢者が社会参加する機会が多い市町村ほど、フレイル(加齢により心身が弱った状態、将来要介護になるリスクがある状態)の該当者が少ないといわれています。



運動を普段から行う地域、会話のある地域など、地域の絆^{きずな}を深めるような試みをしているところの方が、フレイル該当者になりにくいということがわかっています。また、社会の絆が深まるような“たまり場”をつくり、「話す場・活動する場」を設けることで、地域の活性化にもつながることも期待できます。

今回の研修で、「地域での交流促進をどう進めるか」をテーマとして、何ができるかみんなで考えてみましょう。

日時

令和7 (2025) 年1月25日 (土) 午後1時30分～3時30分
(受付: 午後1時～)

場所

橋本市農業構造改善センター (高野口町上中 勤労者体育センター 隣)

対象

信太地区住民・他 (どなたでも参加できます。当日、自由にお越しください。)

内容

- 事例発表: 信太地区にある「通いの場や交流」の紹介
- グループでの意見交換 (各区や信太地区の交流をどうすすめるか)



2023年(R.5)9月の調査では、信太地区の人口は711人、65才以上の高齢者は341人で、高齢化率は48.0%でした。信太地区高齢者の約10%が一人暮らしの方です。5年後、10年後には、ますます地域でのお互いの見守りや助け合い、共に過ごす居場所やサポーターがいる環境づくりが大切になってきます。



・駐車場は勤労者体育センター前です。

- 問い合わせ先 -
たすけ愛信太 世話人

藪下 純男 (田 原)
090-2067-5551
井本 正和 (嵯峨谷)
090-9115-2749